

日本総研 健康・医療政策コンソーシアム

紹介資料

株式会社日本総合研究所
持続可能で質の高い医療提供体制構築に向けた検討チーム
2022.7

従来からの問題

- 高齢化や過疎化に伴い増加し広がる**医療ニーズ**への需給ギャップ
- 医療従事者の**過剰労働**
- **給付と財源**(租税・公的保険料・窓口負担)の不均衡

新たに広く認識された問題

- かかりつけ医の持ち方、従事者等人員連携、病床確保の難しさなど**体制面**の問題
- **データ**を活用した医療の途上
(非接触/非対面医療の遅れ、デジタル活用、データ連携の途上)
- 創薬力・開発力等が**安全保障**の問題にも繋がる事態

解決したい医療政策における問題

■ 医療提供体制

**急な体調変化、家族や地域の悩み等も
相談しやすい医療提供体制の不足**

■ 基本となる考え方

**医療自体や患者が考える価値に基づいて
医療が評価・選択される仕組みの不足**

■ 医療財政

医療給付予算と財源の均衡性確保の検討不足

実現したい事項

- 国民の急な体調変化や家族・地域の悩み等にも対応でき、総合診療専門医や家庭医と様々な多職種がチームとして連携し、国民の一生涯の健康を地域で診る、地域の中小病院の役割や、診療報酬内容の見直しも含めた**プライマリ・ケアチーム体制**の構築
- 国で全体最適化されたセキュアなデジタルヘルスインフラのもと、医療自体や患者に応じた個別化医療の**価値が評価**され、価値が相対的に低い医療の可視化を通して、公的保険がより効果的に活用される仕組み、リアルワールドデータでこれら解析を担う第三者機関の構築
- 医療技術・薬価全体を対象とする価値に基づく評価結果を活用した給付対象の見直しや、創薬・開発革新に寄与する成長投資予算も含めた医療給付予算案編成、租税・公的保険料・窓口負担の組み合わせでの財源確保オプションの提示がなされるマクロでの**給付と負担の均衡性**確保に向けた制度の構築

長期的な展望で、最適な医療制度を維持するために ポストコロナに望まれる 日本の医療のあるべき姿



国民の一生涯の健康を 地域多職種連携で診る

感染・罹患していない健康な方を含め、健康不安時やワクチン接種時などにおいて、自分や家族の一生涯の健康を診る医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー・介護士などによる地域多職種チームへ相談・受診などができる姿。



医療の価値に基づき健康増進と 医療革新が進む

国民一人一人の体調、自分や家族の多様な人生観などに応じ、患者にとって価値の高い医療が評価・提供され、医療従事者は全国で提供されている既存医療の価値を容易に把握し診療に活用できており、医療関連企業は価値に応じて評価される制度のもと日本での製品開発・販売投資に注力している姿。



国民皆保険を将来世代に 引き継ぐ為の財源が確保されている

経済成長策と低所得者層などに向けた福祉政策充実を行うとともに、機能分担と適正な資源配分のもとで必要な給付がなされている姿。結果として、財源確保が避けて通れない場合は、その必要性の理解を国民に求め財源確保を行い、国民が安心できる医療制度を提供できている姿。

あるべき姿実現に向けた重要事項

[医療提供体制]

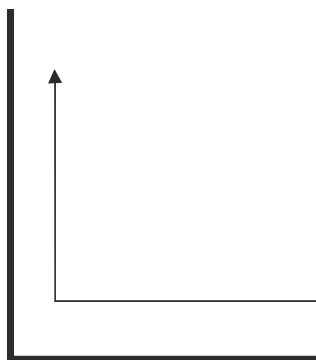


国民の一生涯の健康を
地域多職種連携で診る
プライマリ・ケアチーム体制整備

地域のプライマリ・ケア整備

デジタル/データ利活用

病院-診療所間の機能分担



[医療財政]

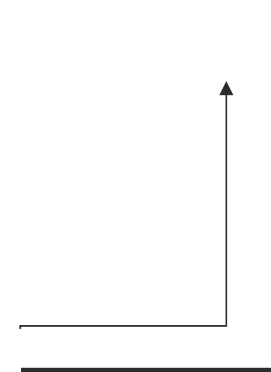


国民的理解を得た
マクロでの給付と財源の均衡

国民的理解の獲得

給付に見合った財源確保

必要な給付の精査



[基本となる考え方]



患者が重視する医療の
提供に向けた
価値に基づく医療の実装

医療の価値の収集・評価

医療の質の継続改善

議論に貢献するために

本質的かつ具体的な論点設定

現在の省庁では議論されにくい、
本質的な論点を議論できる場が必要

中長期的な議論の場

多様な方々と
継続して議論できる場が必要

実現可能で具体的な議論の場

実現可能性を考慮した
具体的な議論ができる場が必要

日本総研

持続可能で質の高い医療提供体制構築に向けた
検討チーム主催

健康・医療政策コンソーシアム

多様な方々と、社会課題解決に向けて
中長期的に議論する検討基盤を構築したい。

政策提言と社会実装を担う取組み

【検討基盤の理念】

中立・公正・公平を重視し、医療に関連する事項(教育・生活など)を総合的に扱い、戦略的思考に基づく問題設定・課題検討を重視するとともに、政策決定者等へ具体的な提言を提示する。これにより、国民の社会保障への不安が軽減し、多くの方がより豊かな人生を送れている姿の実現に貢献する。

Mission

- 医療に関連する事項(教育・生活など)を総合的に扱い、国民の理解促進を追求し、政策決定者等へ具体的な提言を提示

Vision

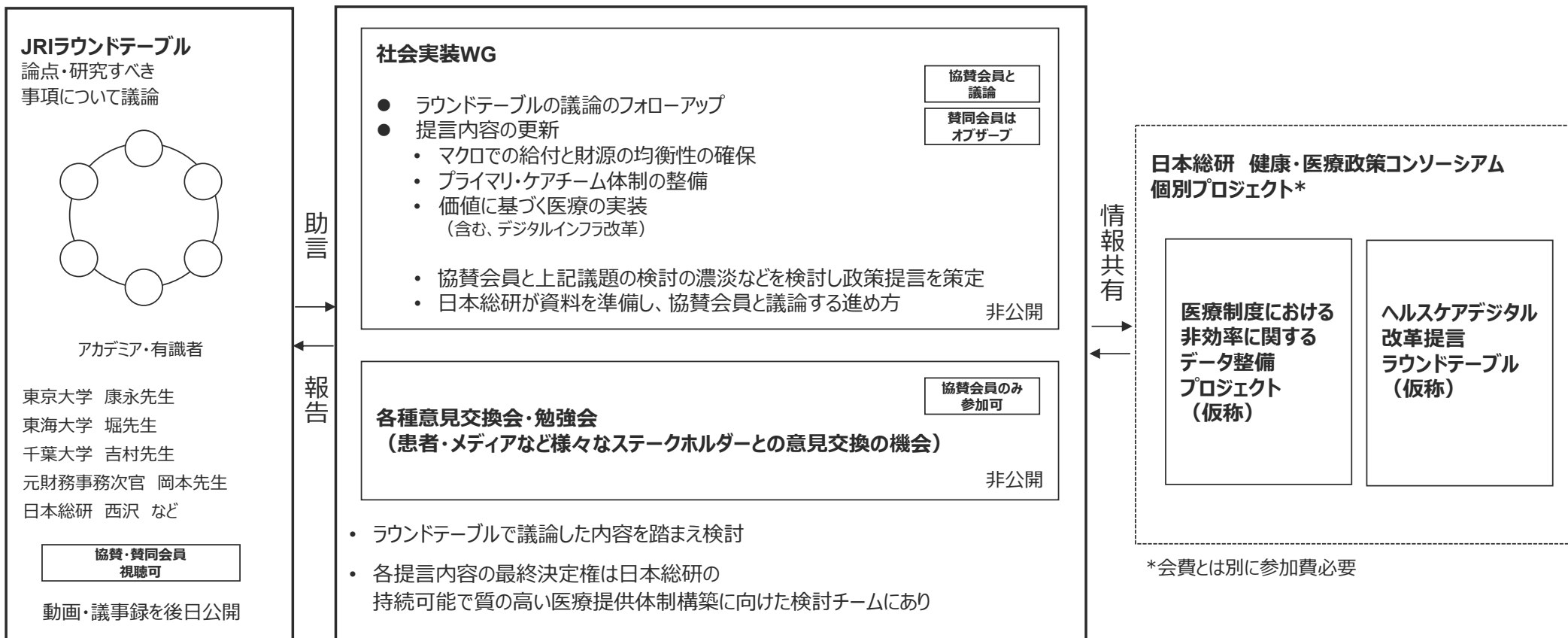
- 国民の社会保障への不安が軽減し、多くの方が安心して豊かな人生を送れている社会

Value

- 国民視点
- 中立・公正・公平
- 傾聴と対話
- あるべき姿から検討
- 学際的アプローチ重視
- 複数による協賛

健康・医療政策コンソーシアム全体像

健康・医療政策コンソーシアム



社会実装WGの取り組み案（予定）



マクロでの給付と財源の 均衡性の確保

政府や厚労省などから、国民に対する給付と財源の現状についての分かりやすい説明がなされ、給付と財源の均衡の必要性が骨太などの政策に記載され、議論されることを目指す。

提言（案）：価値に基づく医療と公的保険料・租税・窓口負担の一体的議論を踏まえた医療予算運営（医療予算）



プライマリ・ケアチーム 体制の整備

プライマリ・ケアに関する制度検討の必要性が提起され、政府内会議・厚労/財務関連会議で議論されることを目指す。

提言（案）：価値に基づく医療を実現する多職種連携を促進するプライマリ・ケアチーム制度（外来医療）



価値に基づく 医療の実装

（含む、デジタルインフラ改革）

市販後（保険適用後）の医療全体を対象に、リアルワールドデータを活用して、価値に基づいて評価するための問題が提起され、政府内会議・厚労/財務関連会議で議論されることを目指す。

提言（案）：価値に基づく医療の実装に貢献する第三者による既存医療の継続評価（データインフラ）

参考：個別プロジェクト案（2022年度）

*会費とは別に参加費必要



医療制度における 非効率に関する データ整備プロジェクト (仮称)

メンバー参加者募集予定なし

日本の医療における非効率な個所を検討する際の羅針盤となるデータを整備。たとえば、医療費のなかで、内に多く使われているかや、伸びが大きい要因は何かを定量的に示す取組み。

- **政府統計・NDBを用いた国民医療費の費目分析**
各セクタにおける費目を「数量×単価」で要素分解し、経時的な増加要因と、全体に対する寄与度について検討を深めたい。
- **日本の医療の非効率性に対する有識者意見の把握**
日本の医療の非効率性として、どのような指摘がなされているか、そして、エビデンスとして何が分析されていて、何が分析されていないかを把握し、過去の議論からの連続性の踏襲と向かうべき方向性の設定を図る。

- **医療産業の衰退がもたらす国民への影響**
医療産業の衰退により陥る国民への各種影響について把握を進める。
- **医療産業への投資による国民への影響**
医療産業への投資の必要性を説き、医療、福祉の削計画から充実・強化への転換を促したい。



デジタルヘルスケア 改革提言ラウンドテーブル (仮称)

参加メンバーと別途個別契約予定

患者・医療従事者にデジタル化がどのように役立つかを検討するとともに、他国のデジタル活用の例も踏まえて提言する。医療従事者や施設個々にデジタル化の対策や負担を求める進め方自体についての議論なども進める。

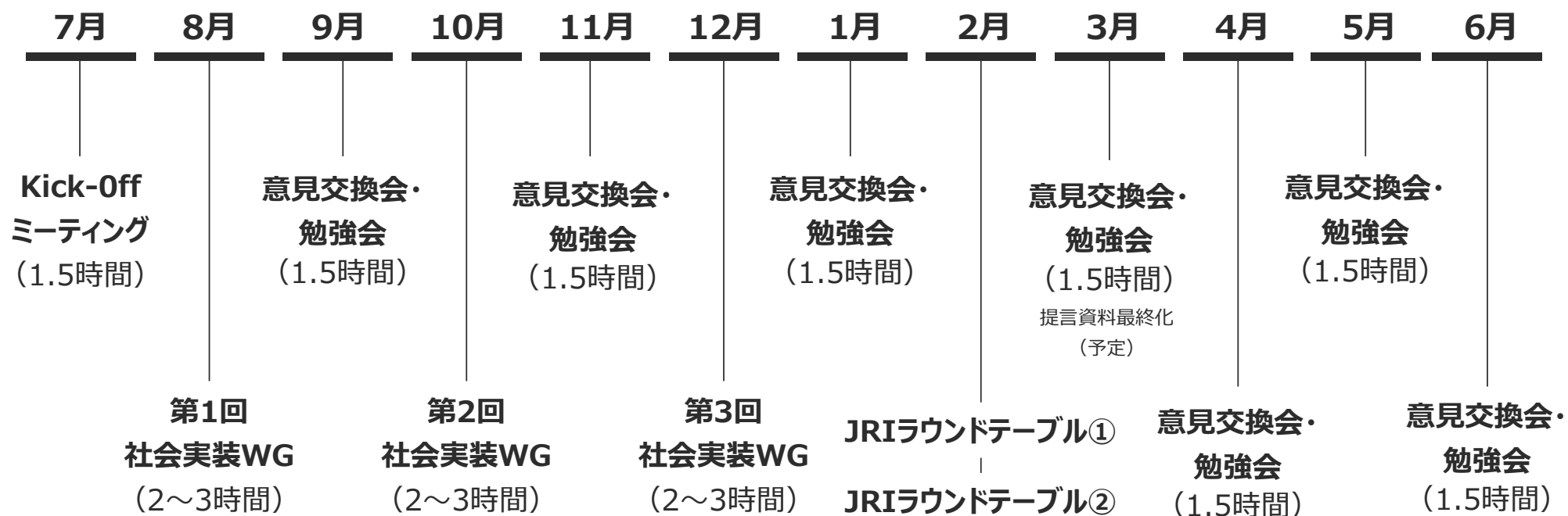
- **提言1：デジタル医療ビジョン**
患者・医療従事者視点のメリットを具体的に示したデジタル活用の将来像を提言。
- **提言2：情報連携強化**
ヘルスケア情報が連携されたすべての医療機関（薬局等を含む。）が作成するすべての医療情報及び本人が連携に同意したPHR情報を連携の対象（連携ヘルスケア情報）とし、そのために必要なデジタル基盤を提言。

- **提言3：セキュリティ・プライバシー確保**
国際的なサイバーセキュリティ基準に準拠した各医療機関に過度な負荷をかけない仕組み。国際的に認められる「プライバシー・バイ・デザイン」の原則に従って、プライバシーを確保したシステム。これらが構築され、ヘルスケア情報の最大限の利活用を図るための措置を提言。
- **提言4：関係者の期待役割**
各省庁や医療機関に求められる役割りを提言。

※個別プロジェクトへの参加は、各プロジェクトのリーダー団体・企業が参加できる企業を選定するもの

※非会員企業が参加する場合は、協賛・賛同会員よりも参加費が割高となる見込み

毎年の年間スケジュール



協賛・賛同会員

		JRI ラウンド テーブル	社会実装 WG	意見交換・ 勉強会	その他	
					個別 プロジェクト	人財育成 プログラム*
		視聴	参加	参加	立ち上げ 提案	優先 申し込み
団体	協賛会員 団体指定の所属法人は無料 団体対応窓口の設定必要	✓	✓	✓	✓	✓
	賛同会員 団体の事務局のみ対象	✓	オブザーブ	—	—	✓
法人	協賛会員	✓	✓	✓	✓	✓
	賛同会員	✓	オブザーブ	—	—	✓

※協賛頂いた資金は、本コンソーシアムの活動に関する日本総研コンサルタント、運営支援企業や各種調査に関する外注など主に利用する。
年間を通して生じた利益は、翌期へ繰り越し管理するとともに、1年ごとに会員へ情報を共有する。

*今後提供予定

株式会社日本総合研究所
持続可能で質の高い医療提供体制構築に向けた検討チーム